

## 2025年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年3月10日

上場会社名 株式会社 アインホールディングス 上場取引所 東 札  
 コード番号 9627 URL <https://www.ainj.co.jp/corporate/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大谷 喜一  
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務 (氏名) 水島 利英 TEL 03-5333-1812  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無：有 (決算補足説明資料は、適宜、当社ホームページに掲載いたします。)  
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年4月期第3四半期の連結業績（2024年5月1日～2025年1月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年4月期第3四半期	336,834	13.7	22,697	2.3	12,554	△12.2	13,619	△9.5	7,357	△15.7
2024年4月期第3四半期	296,360	12.3	22,187	17.5	14,305	22.4	15,050	21.7	8,730	31.7

(注) 包括利益 2025年4月期第3四半期 7,610百万円 (△13.8%) 2024年4月期第3四半期 8,828百万円 (32.9%)

(注) EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却費

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年4月期第3四半期	210.05	—
2024年4月期第3四半期	248.51	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年4月期第3四半期	298,522	140,559	47.1
2024年4月期	249,409	135,411	54.3

(参考) 自己資本 2025年4月期第3四半期 140,473百万円 2024年4月期 135,307百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年4月期	—	0.00	—	80.00	80.00
2025年4月期	—	0.00	—	—	—
2025年4月期（予想）	—	—	—	80.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2025年4月期の連結業績予想（2024年5月1日～2025年4月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	453,500	13.4	33,620	7.3	19,360	△5.2	20,000	△6.4	10,000	△12.3	285.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有  
新規 1社 (社名) 株式会社Francfranc、除外 1社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付書類8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご参照ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年4月期3Q	35,428,212株	2024年4月期	35,428,212株
② 期末自己株式数	2025年4月期3Q	367,887株	2024年4月期	433,891株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年4月期3Q	35,027,371株	2024年4月期3Q	35,131,383株

(注) 期末自己株式数には、株式会社日本カストディ銀行 (信託E口) が保有する当社株式 (2024年4月期 333,800株、2025年4月期3Q 270,300株) が含まれております。また、株式会社日本カストディ銀行 (信託E口) が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております (2024年4月期3Q 1株、2025年4月期3Q 302,133株)。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算定しており、今後の経済状況等の変化により、実際の業績は予想数値と異なる結果となる場合があります。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(会計方針の変更に関する注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	9
(追加情報) .....	9
(表示方法の変更) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間（2024年5月1日～2025年1月31日）におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善とともに、緩やかな回復がみられます。一方で、海外景気の下振れが国内景気を下押しするリスクになっていることに加え、物価上昇や通商政策動向、金融資本市場の変動等により未だ不透明な状況が続いております。

このような経済情勢の中、当社グループはマテリアリティ「地域医療への貢献」「美しさとすこやかさの提供」を使命とし、医療・小売サービスの提供に努めております。また、ダイバーシティ&インクルージョンの推進をマテリアリティ「健全な経営基盤」における重要な取り組みのひとつとしてとらえており、女性の活躍推進に積極的に取り組む中、女性社員のキャリア形成を支援する研修の実施や、ワークライフバランスの促進に向けた取り組みの強化等が評価され、2024年6月に中核事業会社である株式会社アインファーマシーズが厚生労働大臣より「プラチナえるぼし」の認定を受けました。上記を含め、人材戦略の取り組みを強化しており、当社グループが推進する人的資本経営におけるKPI等について、2024年7月に開示内容を拡充した他、2024年11月にはすべての従業員の人権が守られ、心身共に健康で安心して働ける環境を整備するため、「アイングループ カスタマーハラスメントに対する基本方針」を制定し、開示いたしました。

これらの取り組みに加え、マテリアリティ「環境保護・負荷低減」の取り組みとして、2024年12月より関西及び北陸の当社グループの薬局において、太陽光発電を活用したオフサイト型コーポレートPPA<sup>\*</sup>を導入したこと等の省エネ・節電施策の推進が評価され、2025年2月には環境情報開示のための世界最大のデータベースを有する国際的環境NGOである「CDP」による「気候変動」分野における評価において、昨年に続き上位から3番目の評価であるBスコアを取得いたしました。

これからも当社グループは、事業によるさまざまな社会課題の解決への貢献を通じて、ステークホルダーの皆さまに「この街にアインがあって良かった」と感じていただける企業を目指します。

※ オフサイト型コーポレートPPA：発電事業者が、電力の需要家の敷地外（オフサイト）にある太陽光発電所等により創出される環境価値を需要家に長期供給する電力購入契約（Power Purchase Agreement）。

当第3四半期連結累計期間における経営成績は、次のとおりであります。

	前第3四半期 連結累計期間 (百万円)	当第3四半期 連結累計期間 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	296,360	336,834	40,473	13.7
営業利益	14,305	12,554	△1,751	△12.2
経常利益	15,050	13,619	△1,430	△9.5
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,730	7,357	△1,372	△15.7

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

		前第3四半期 連結累計期間 (百万円)	当第3四半期 連結累計期間 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
ファーマシー 事業	売上高	265,019	285,205	20,185	7.6
	セグメント利益	19,713	17,405	△2,307	△11.7
リテール事業	売上高	22,905	43,294	20,388	89.0
	セグメント利益	2,246	4,010	1,763	78.5
その他の事業	売上高	8,472	8,371	△100	△1.2
	セグメント損失 (△)	△80	△46	33	—

(注) セグメントの売上高にはセグメント間の内部売上高を含んでおります。

## (ファーマシー事業)

ファーマシー事業では、「確かな専門性で地域のかかりつけ薬局に」を目指す姿として掲げ、医療機関等との連携、お薬手帳等を活用した服薬情報の一元的・継続的な把握、在宅医療対応等により、患者さまが住み慣れた地域で安心して医療を受けることができるよう、「かかりつけ薬剤師・薬局」の機能発揮に取り組んでおります。

また、患者さまの利便性向上のためのDX推進にも積極的に取り組んでおり、「公式アプリ いつでもアイン薬局」やLINE公式アカウント等により、処方箋送信サービスをより手軽に利用いただける環境を整えております。2024年12月には「公式アプリ いつでもアイン薬局」に、新たに「お薬手帳」及び「カレンダー」の機能を追加し、より便利に薬の管理ができる仕様といたしました。

上記施策の他、国家戦略特別区域である大阪府大阪市において薬局DX推進コンソーシアムの一員として、2024年10月に全国初となる「異なる法人間における調剤業務の一部外部委託」の実証を行いました。本取り組みを含め、将来見込まれる規制緩和への迅速な対応や競争力のさらなる強化に向けた準備を進めてまいります。

当第3四半期連結累計期間においては、高額医薬品の処方により処方箋単価が上昇するとともに、かかりつけ薬剤師・薬局としての機能強化や待ち時間短縮等の患者さまサービス向上に加え、2024年11月より全国的に流行したインフルエンザにより処方箋枚数についても増加しております。

同期間の出店状況は、M&Aを含め、グループ全体で合計41店舗を出店し、17店舗を閉店、11店舗を事業譲渡したことで、当社グループにおける薬局総数は1,244店舗となりました。

## (リテール事業)

リテール事業では、コスメティックストア「アインズ&トルペ」を展開しており、コスメを中心とした独自性のある商品構成やアジアンコスメの独占・先行販売等の施策を行うことで他社店舗との明確な差別化を図っております。また、2024年8月にはインテリアショップ「Francfranc」がグループ入りしております。Francfrancでは家具やインテリア雑貨の企画から製造・販売まで一貫して行うことで、多彩なデザインと自由なスタイリングで心地良い毎日の提案を行っています。

当第3四半期連結累計期間においては、グループ入りしたFrancfrancの寄与により、売上が大きく伸長しました。アインズ&トルペでは、既存店及び前期出店店舗の客数が堅調に推移していることに加え、前期から引き続きアジアンコスメや高価格帯コスメ等の売上が伸長していることで単価が上昇しております。また、Francfrancでは、クリスマス商戦及びシーズン品の切り替えに伴うセールが好調だったことにより、売上が順調に推移しております。今後、アインズ&トルペとFrancfranc双方の強みを活かしたシナジーを発揮するとともに、購買動向を注視しながら商品力の強化や魅力的な売り場づくりを行ってまいります。

同期間の出店状況は、アインズ&トルペとして8店舗を出店し、2店舗を閉店したことにより、店舗数は87店舗となりました。また、Francfrancは161店舗がグループ入り後3店舗を出店し、1店舗を閉店したことにより、店舗数は163店舗となり、リテール事業における店舗総数は250店舗となりました。

## (2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における総資産の残高は、前連結会計年度末より491億1千2百万円増の2,985億2千2百万円となりました。主な要因は、Francfrancのグループ入りをはじめとするM&Aによるのれんや商品の増加によるものであります。

負債の残高は、439億6千4百万円増の1,579億6千2百万円となりました。主な要因は、Francfrancのグループ入りに伴う買掛金の増加や株式取得資金を金融機関より調達したことによるものであります。それに伴い、短期及び長期借入金の残高は、277億3千5百万円増となる344億2千9百万円となりました。

純資産の残高は、51億4千8百万円増の1,405億5千9百万円となり、自己資本比率は7.2ポイント減少となる47.1%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年9月4日発表の通期連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年1月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	48,611	27,851
売掛金	15,852	20,750
商品	24,299	36,127
貯蔵品	345	466
短期貸付金	144	167
未収入金	16,000	13,436
その他	5,490	5,054
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	110,743	103,852
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	27,122	31,778
土地	10,207	10,089
その他(純額)	6,121	7,418
有形固定資産合計	43,450	49,286
無形固定資産		
のれん	44,066	82,569
その他	7,176	12,244
無形固定資産合計	51,242	94,814
投資その他の資産		
投資有価証券	3,345	3,219
繰延税金資産	6,403	6,963
敷金及び保証金	25,186	30,893
その他	9,315	9,750
貸倒引当金	△276	△257
投資その他の資産合計	43,973	50,569
固定資産合計	138,666	194,670
資産合計	249,409	298,522

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年1月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	65,506	78,240
短期借入金	3,467	7,084
未払法人税等	4,532	2,736
預り金	19,063	21,097
賞与引当金	3,394	1,821
役員賞与引当金	19	10
契約負債	465	512
その他	6,784	7,830
流動負債合計	103,232	119,336
固定負債		
長期借入金	3,227	27,345
リース債務	38	178
退職給付に係る負債	4,662	4,946
資産除去債務	2,001	4,051
その他	835	2,103
固定負債合計	10,765	38,626
負債合計	113,998	157,962
純資産の部		
株主資本		
資本金	21,894	21,894
資本剰余金	20,131	20,128
利益剰余金	95,257	99,788
自己株式	△2,436	△2,069
株主資本合計	134,847	139,742
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	234	269
繰延ヘッジ損益	—	294
為替換算調整勘定	—	△3
退職給付に係る調整累計額	225	170
その他の包括利益累計額合計	459	730
非支配株主持分	104	86
純資産合計	135,411	140,559
負債純資産合計	249,409	298,522

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年5月1日 至 2024年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年5月1日 至 2025年1月31日)
売上高	296,360	336,834
売上原価	253,147	283,565
売上総利益	43,213	53,268
販売費及び一般管理費	28,907	40,714
営業利益	14,305	12,554
営業外収益		
受取利息	31	27
受取配当金	41	36
受取手数料	9	5
不動産賃貸料	220	275
業務受託料	199	289
補助金収入	227	514
その他	348	461
営業外収益合計	1,077	1,610
営業外費用		
支払利息	26	177
債権売却損	86	217
不動産賃貸費用	75	88
貸倒引当金繰入額	96	—
その他	48	61
営業外費用合計	332	544
経常利益	15,050	13,619
特別利益		
固定資産売却益	417	158
事業譲渡益	7	539
保険解約返戻金	11	7
その他	4	62
特別利益合計	439	768
特別損失		
固定資産除売却損	133	102
減損損失	219	122
その他	106	58
特別損失合計	459	283
税金等調整前四半期純利益	15,031	14,104
法人税等	6,325	6,764
四半期純利益	8,705	7,339
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△24	△17
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,730	7,357

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年5月1日 至 2024年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年5月1日 至 2025年1月31日)
四半期純利益	8,705	7,339
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	145	34
繰延ヘッジ損益	—	294
為替換算調整勘定	—	△3
退職給付に係る調整額	△22	△54
その他の包括利益合計	122	270
四半期包括利益	8,828	7,610
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,852	7,627
非支配株主に係る四半期包括利益	△24	△17

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2023年5月1日至2024年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ファーマシー 事業	リテール事業	その他の事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	265,019	22,905	8,435	296,360	—	296,360
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	37	37	△37	—
計	265,019	22,905	8,472	296,397	△37	296,360
セグメント利益又は損失(△)	19,713	2,246	△80	21,879	△6,829	15,050

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△6,829百万円には、全社費用が7,673百万円、報告セグメントに配賦不能の損益(△は益)が△812百万円、セグメント間取引消去が△31百万円含まれております。

なお、全社費用は、報告セグメント外の管理部門及びシステム物流部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2024年5月1日至2025年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ファーマシー 事業	リテール事業	その他の事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	285,205	43,294	8,334	336,834	—	336,834
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	37	37	△37	—
計	285,205	43,294	8,371	336,871	△37	336,834
セグメント利益又は損失(△)	17,405	4,010	△46	21,369	△7,749	13,619

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△7,749百万円には、全社費用が8,492百万円、報告セグメントに配賦不能の損益(△は益)が△702百万円、セグメント間取引消去が△40百万円含まれております。

なお、全社費用は、報告セグメント外の管理部門及びシステム物流部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「リテール事業」セグメントにおいて、当社が株式会社Francfrancの全株式を取得したことに伴い中間連結会計期間より、同社及びその子会社を連結の範囲に含めております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては41,048百万円であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む）及びのれん償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年5月1日 至 2024年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年5月1日 至 2025年1月31日)
減価償却費	4,567百万円	5,965百万円
のれん償却額	3,314	4,178

(追加情報)

(従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引)

当社は、従業員の福利厚生増進及び当社の企業価値向上に係るインセンティブの付与を目的として、従業員持株会に信託を通じて自社の株式を交付する取引を行っております。

#### 1. 取引の概要

当社は、2024年4月より「株式給付信託（従業員持株会処分型）」（以下「本制度」といいます。）を導入しております。

本制度の導入にあたり、当社は、当社を委託者、みずほ信託銀行株式会社（以下「受託者」といいます。）を受託者とする「株式給付信託（従業員持株会処分型）契約書」（以下「本信託契約」といいます。）を締結しました（以下、本信託契約に基づいて設定される信託を「本信託」といいます。）。また、受託者は株式会社日本カストディ銀行との間で、株式会社日本カストディ銀行を再信託受託者として有価証券等の信託財産の管理を再信託する契約を締結しております。

株式会社日本カストディ銀行は、信託E口において、信託設定後5年間にわたり「アインホールディングス従業員持株会」（以下「持株会」といいます。）が購入することが見込まれる数に相当する当社株式を予め一括して取得し、以後、持株会の株式購入に際して当社株式を売却していきます。信託E口による持株会への当社株式の売却を通じて、信託終了時までに、本信託の信託財産内に株式売却益相当額が累積した場合には、かかる金銭を残余財産として、受益者適格要件を充足する持株会加入者（従業員）に分配します。

また、当社は、信託E口が当社株式を取得するために受託者が行う借入に際し保証をするため、当社株価の下落等により、信託終了時において、株式売却損相当額の借入残債がある場合には、保証契約に基づき当社が当該残債を弁済することとなります。

#### 2. 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における取得価額（付随費用の金額を除く。）により、純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度1,844百万円、333千株、当第3四半期連結会計期間1,493百万円、270千株であります。

#### 3. 総額法の適用により計上された借入金の帳簿価額

前連結会計年度1,845百万円、当第3四半期連結会計期間1,645百万円

(表示方法の変更)

(四半期連結貸借対照表)

前連結会計年度において、「固定負債」の「その他」に含めていた「資産除去債務」は、金額的重要性が増したため、中間連結会計期間より区分掲記しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「固定負債」の「その他」に表示していた2,837百万円は、「資産除去債務」2,001百万円、「その他」835百万円として組替えております。